

# 不動産業業況等調査（平成28年7月）<sup>\*1</sup>

## ● 現在の経営状況<sup>\*2</sup>

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	30.3 p	4.5 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 11.4 p	△ 7.6 p ↓
ビル賃貸業	8.7 p	△ 1.3 p ↓

## ● 3ヶ月後経営状況見通し<sup>\*3</sup>

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 3.0 p	0.2 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 9.8 p	△ 0.7 p ↓
ビル賃貸業	4.3 p	2.0 p ↑

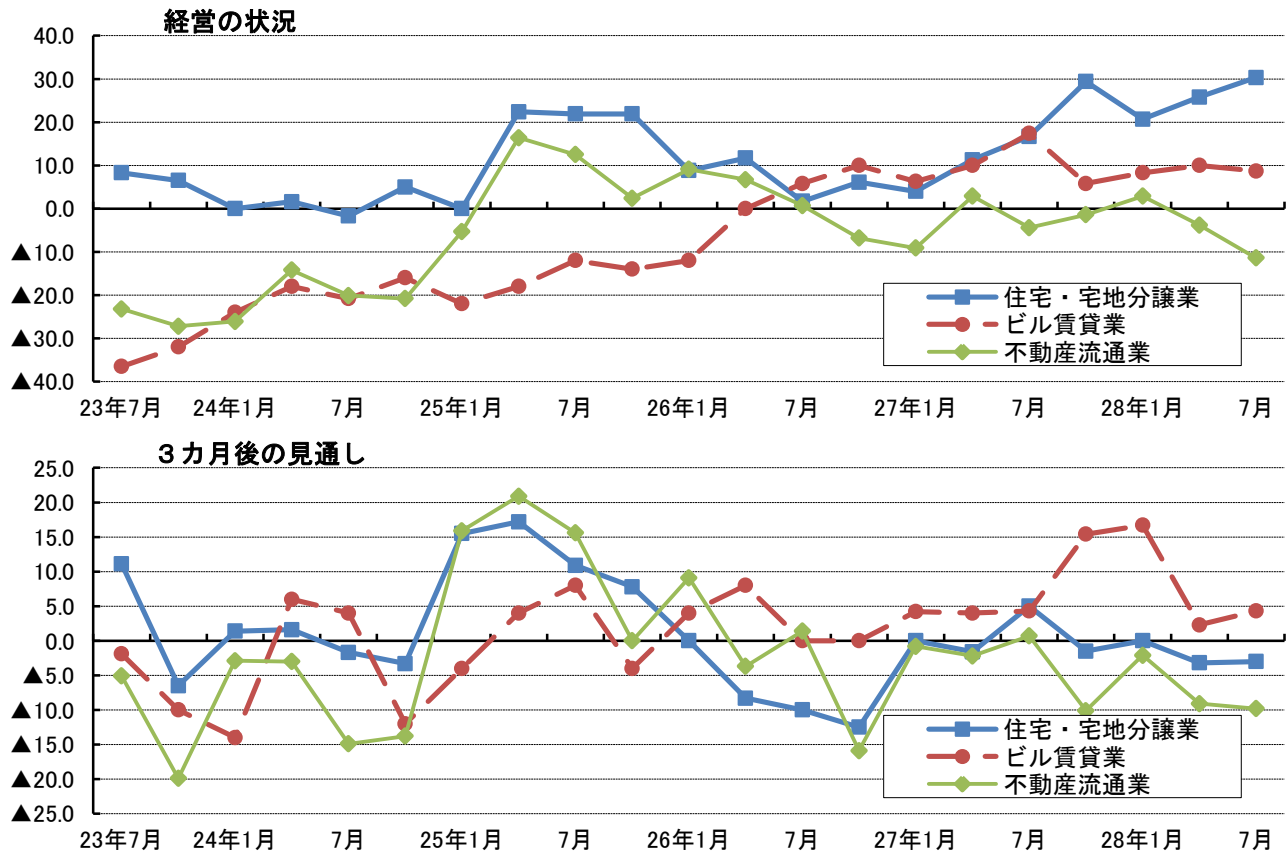
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 4.5p 改善し 30.3p。  
 不動産流通業は前回から 7.6p 悪化し △ 11.4p。  
 ビル賃貸業は前回から 1.3p 改善し 8.7p。

現況および3ヶ月後の見通しは、不動産流通業で悪化。

\*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

\*2 経営の状況 =  $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

\*3 3ヶ月後の見通し =  $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」